



白砂青松の海辺から 高台の絶景へ

美しい松林、パノラマビューが広がる展望台、そして海景色の野外劇場。くると表情を変えるさぬき市の海岸線を訪ねてみました。



大串自然公園

津

田の松原ことさぬき市の琴林公園。「日本の渚百選」にも選ばれ、白砂青松の言葉そのままの見事な光景が広がっています。

江戸時代初期、海風や砂から津田八幡宮を守る防風林として大規模な植栽が行われたと言われています。風に揺れる松葉の音が琴を奏でているように聞こえることから「琴林」の名がついたとか。松林の向こうに白い砂浜と青い海が透かし見え、平山郁夫や棟方志功といった高名な芸術家たちが訪れたのもうなずける美しさです。

海に向かって松原を抜けていくと、赤い欄干の橋が見えてきました。梅川に架かる「願い橋・叶え橋」です。願い事を念じながら海に向かって渡り、戻っていると叶うと言われる開運スポット。もう一つ、少し上流に見える黄色い橋は「見逢い橋・出逢い橋」。こちらは緑



津田の松原



エリア さぬき市

目の前はいきなりパノラマビューの景色！条件が良ければ淡路島の辺りまで見渡すことができます。オートキャンプ場としても人気があり、磯風に吹かれながらゆっくと一日の眺めを楽しむのもお勧めです。

半島の先をぐるっと回り込んだところには野外音楽場テアトロン。ギリシヤ神殿を思わせる荘厳な造りと、背後に広がる海の迫力、自然のパワーあふれる大ステージです。イベントのない時の静けさもまた違った趣があります。

誰もが知っている讃岐の名所の魅力を、なんだか再発見した1日になりました。

松原から元気を発信

津田の松原を良くする会 事務局長 鶴身 正さん

津田の松原の特徴は、何といても大木古木が多いこと。隆起した根がダイナミックな根上がり松をはじめ大小約4000本、樹齢600年を超えるものもあり、特に立派な7本は「七福神の松」の名で親しまれています。

広々とした公園内に足を踏み入ると、掃除が行き届いていて何とも爽やか。「松原は地域の宝物。人々が触れ合い、健康になり、心安らぐ場所であってほしい」と、津田の松原を良くする会（岸本淳美会長）の鶴身さん。



鶴身さん

同会や地域の人たちの小まめな清掃・保全活動が、松原の美しい景観を守っているのです。

保全活動の傍ら、子どもたちに松原の魅力や面白さを伝える活動にも取り組んでおり、園内でガイドを務めることも。「先人が残した海辺の環境と人々の心を、後世に伝えていきたい。松原の魅力や折節に発信し、にぎわいの拠点として多くの人に活用してもらえたら」と、鶴身さんは思いを込めて語ってくれました。

里海トピックス